

「第10回年次カンファレンス」



1. 開催日時 : 平成28年2月27日(土)
2. 開催場所 : パシフィコ横浜会議センター1階
3. プログラム : *以下のとおり
4. 参加人数 : 約350名

プログラム

講演：新たなる課題の検討 - 臨床倫理問題への対応 (9:30 - 12:30)

座長：慶應義塾大学大学院教授 前田正一

1. 臨床倫理コンサルテーションの意義と実際：何が許され何が許されないかについて明確な基準がないとき、医師や看護師等の医療従事者は、どのように行動すべきか？

慶應義塾大学大学院教授 前田正一

2. 医療方針の決定についての最近の北米での議論と日本への示唆：生命維持治療に関する医師の指示書 (Physician Orders for Life-Sustaining Treatment : POLST) をめぐる議論を中止に

早稲田大学准教授 横野恵

3. 医療における医学的無益性 (medical futility) についての最近の英米での議論と日本への示唆

熊本大学大学院准教授 門岡康弘

会員報告 (12:40 - 13:20)

座長：かわぐちクリニック 院長 川口雅裕

1. 放射線検査時の被ばくに関する医師と市民の態度:A 臨床研修病院における医師と患者を対象とした調査研究

Jay Starkey

2. 「医師の宿日直は通常勤務」大阪高等裁判所平成 27 年 11 月 16 日判決の分析

川辺賢一郎

シンポジウム：新制度における院内事故調査と調査委員の選任（13:30-16:30）

座長：東北大学病院 医療安全管理部 特命教授 藤盛啓成

北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原康行

1. 調査委員の選任：調査委員長と調査委員に求められるコンピテンシー（知識・技能）
東北大学病院 医療安全管理部 特命教授 藤盛啓成
2. 調査委員会でのリスクマネジャーの果たすべき役割：委員として、陪席者として
NTT 東日本関東病院 前医療安全管理者 栗原博之
3. 外部委員の要否に関する議論の整理と、行政機関・社会の考え方
日本経済新聞社 記者 前村 聡
4. 外部委員はどのような場合に必要となり、どのような人が適任か？
北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原康行
5. 施設方針と運用実態：内部委員・外部委員の選任、外部組織への調査依頼、調査結果の遺族への報告方法等
 - 1) 大学病院の例
北海道大学病院 医療安全管理部長 南須原康行
 - 2) 地域中核病院の例
済生会新潟第二病院 副院長 酒井靖夫
6. 討論